

1 1月の保育目標

＜年少組＞ ねらい：冷たい風や落ち葉の色の変化など、秋から冬へ変わろうとする自然の変化に保育者や友だちとを感じる

健康：鼻水が出たら気付いて拭き取り、咳をする時は口に手を当てるというエチケットを知る

人間関係：生活の中でのやり取りを遊びの中に取り入れながら友だちとごっこ遊びをする

環境：様々な素材（ぼんぼり、フェルト、ボンド、モール）に興味を持ち、感触や使い方を知り、制作に取り組む

言葉：保育者の言葉一つ一つに興味を示し、意味を聞いたり真似をして使って語彙を増やしていく

表現：曲に合わせてメロディオンを吹いたり、いろんな楽器を使ってリズム打ちをし楽器を大切に使うことを知る。

＜年中組＞ ねらい：作品展にむけて皆で考えて作ったり、助け合ったりする喜びを感じ、自分で出来る範囲を広げ自信を付けていく

健康：様々な事が出来るようになり、自分から挑戦していく中で大きなケガにつながらないように注意する。

人間関係：他者を助けたり、優しく接する事、また助けられることの感謝や大切さを知る

環境：のりやはさみなどを正しく使って、丁寧に制作を取り組み、準備や片付けでは常にロッカーをきれいに使う。

言葉：分からないことや伝えたい事があれば、自ら相手に言葉で伝えられるようにする

表現：作品作りを通して、自分で考えたり、こうしてみたいという思いを大切に表現を楽しむ

＜年長組＞ ねらい：運動会を終えて、仲間意識が強くなる。

健康：縄跳びや跳び箱の練習をして飛び越えたり片足跳び等の動きが上達する

人間関係：チームに分かれて鬼ごっこやボール遊びなど、ルールのある遊びを楽しみ
仲間を大切にし、協力しようとする意識が高まる。

環境：小学校との交流を楽しんだ後に、文字や数字の練習をする等、就学を心待ちにする

言葉：平仮名が上手に書けるようになり、小学校のお兄さん、お姉さんに手紙を書いて文字を楽しむ

表現：自分でイメージしたものを作品作りで表現し、友だちと会話を楽しみながら作る

＜コアラ＞ ねらい：経験した事、感じた事、想像したこと等を様々な方法で表現する

健康：保育者や友だちと食事をする事を楽しむ中で、簡単な決まりがある事を知り、守ろうとする（一緒に「いただきます」「ごちそうさま」途中で立たない、まっすぐ座る、片手で食べないなど…）

人間関係：物の取り合い等の友だちとのトラブルの中で、保育者の仲立ちで自分の思いを表現しようとしたり、相手の気持ちを知ったりする

環境：遠足を通し、園外に出た時は安全に気を付けようと意識を持って行動する

言葉：自分の気持ちや体調の不調など、困っていることやしてほしい事を、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする

表現：物の色、形、大きさ、量などの違いや、特徴に興味・関心を持ちながら自分の作品を仕上げていく。

<つぼみ1> ねらい：心地よい秋の自然に触れながら、探索活動を楽しむ

作品展の作品作りを通して、物を作り出す喜びを感じる

健康：鼻水が出たことを知らせたり、汚れた手を洗おうとするなど、自分から進んで清潔にしようとする

人間関係：ブロックや積み木遊びで、友だちの作った物と合わせてみたり、保育者の仲立ちで一緒に作ることを楽しむ

環境：戸外で元気に体を動かしながら、木々の様子や風が少しづつ冷たくなってきたことを感じる

言葉：言葉や手振り・身振りでしたいことやして欲しいことを知らせようとする

表現：保育者の話や材料の手触りから、自分なりに考えたことを制作で表現する

<つぼみ2> ねらい：戸外遊びや遠足で落ち葉などに触れ秋の自然に親しむ

健康：スプーンやフォークの正しい使い方を身につけ、こぼさずに食事を楽しむ
ガラガラうがいができるようになる

人間関係：遊びの中のトラブルや友だちとのやりとりを通して、相手の思いや気持ちに気付く

環境：大きな固定遊具の使い方を知り、安全に挑戦する
遠足の芋ほりを機会に、さつまいもの成長の仕方を知ったり、畑のうねから自分の手で掘り出すことを楽しむ

言葉：身の周りにある物の色・形・手触り・特徴などに興味を持ち、友だちや保育者にしらせる

表現：季節の歌を歌ったり、曲に合わせて踊ることを楽しむ
秋の自然物（落ち葉・どんぐり・松ぼっくりなど）を取り入れて作品作りを楽しむ